

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡA			
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡA			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30	
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネータ技能検定3級合格。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト（提出物）：30% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネータ技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識ⅠA・ⅠB、ブライダル知識ⅡB、パーティプロデュース、ホテルプランニングA、ホテルプランニングB、オリジナルプランニングA、オリジナルプランニングB				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	入江 綾結美	実務経験	○		
実務内容	リクルートゼクシィにて勤務2年・ゲストハウスにてプランナーとして勤務2年・ブライダルMC12年目。 その実務経験に基づき、ブライダルの現場で活かせるスキルを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次振り返り 海外ウェディング・二次会	1年次振り返り 海外ウェディング、新婚旅行、二次会会場、1.5次会について理解する
2	コーディネーター業務 コーディネーターの役割	セールスと旅行について理解する 担当制と分担制の違いについて学ぶ コーディネーターの当日の役割について理解する
3	新規業務 ホスピタリティ営業	カップルの動き、集客方法について知る ブライダル商品の特徴を知る
4	プランニング 成約業務	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する 結婚式当日までの大まかな打ち合わせスケジュールを理解する 成約時どのような手続きが必要なのか知る
5	成約～当日 打ち合わせの流れ	時期に合わせた打ち合わせ内容を理解する
6	コーディネータ 会場コーディネータ テーブルコーディネータ	会場内のコーディネータについて理解を深める
7	衣裳① 衣裳、ヘアメイク、着付け①	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
8	衣裳② 衣裳、ヘアメイク、着付け②	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
9	フラワーアイテム 装花の手配	フラワーアイテムについて理解する 手配スケジュールについて知る
10	ペーパーアイテム ペーパーアイテムの手配	ペーパーアイテムの手配スケジュールを知る ペーパーアイテムの注意点について学ぶ
11	料理、飲物① テーブルセッティング①	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
12	料理、飲物② テーブルセッティング②	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
13	引出物、引菓子 記録、記念アイテム	各アイテムの内容、注意点を知る 手配スケジュールについて知る
14	前期テスト	前期テスト実施
15	総まとめ	テストの振り返りとまとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせる。				
評価基準	テスト：60% 提出物：30% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識ⅠA、ブライダル知識ⅠB、ブライダル知識ⅡA、パーティプロデュース、ホテルプランニングA、ホテルプランニングB、オリジナルプランニングA、オリジナルプランニングB				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	一般常識問題	一般常識問題を想定し解答する
2	筆記問題対策①	ペアを作り、今までの問題を解く(100問ずつ)
3	筆記問題対策②	
4	筆記問題対策③	
5	筆記問題対策④	
6	実技対策①	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
7	実技対策②	
8	実技対策③	
9	実技対策④	
10	模擬テスト①	対策問題を解く
11	模擬テスト②	
12	模擬テスト③	
13	模擬テスト④	
14	検定振り返り	検定を振り返り答え合わせをする
15	総合授業	これまでの授業総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	就職ガイドブック		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度：30% 提出物：30% テスト：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藏下 華蓮	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	グループディスカッション①	グループディスカッションの進め方を理解する
4	グループディスカッション②	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
5	グループディスカッション③	
6	面接練習①	面接の重要性・質問を理解する WEB面接の重要性・質問を理解する
7	面接練習②	模擬面接を行う
8	面接練習③	
9	面接練習④	
10	社会で求められる人材について①	SANKOワークコンピテンスの社会で求められる人材について理解する
11	社会で求められる人材について②	
12	社会で求められる人材について③	
13	振り返り	就職活動・面接のポイントを振り返る
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	就職ガイドブック		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。				
評価基準	授業態度：40% 提出物：30% テスト：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くに当たり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
6	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ
7	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
8	人間関係構築力について②	
9	To Do リスト作成について	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ
10	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
11	年賀状の書き方について	内定を頂いている企業様へ年賀状を書く。年賀状の書き方を学ぶ
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ。				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材になる。				
評価基準	テスト：60% プレゼン：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	小川 菜々	実務経験	○		
実務内容	ドレスショップ勤務3年。ジュエリーを含めトータルコーディネートを行う。この経験を活かし、現場目線での授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎①	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
3	ブライダルジュエリー基礎②	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	ブライダルジュエリー基礎③	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
5	ブライダルジュエリー基礎④	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン①準備)
6	ブライダルジュエリー基礎⑤	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン②グループ発表)
7	ハワイアンジュエリー	ハワイアンジュエリーの知識を学ぶ
8	ブライダルジュエリーブランドを調べる①	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(国内ブランド)
9	ブライダルジュエリーブランドを調べる②	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(海外ブランド)
10	指輪のサイズ ラッピング技術	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各自のサイズを知る 実践で使えるラッピング技術を学ぶ
11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ
12	プロポーズの提案①	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う
13	プロポーズの提案②	提案したプロポーズ方法を発表する
14	前期試験	筆記テスト
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトII A		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトII A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	挙式披露宴を施行するうえでの準備、当日の運営までを理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる。</li> <li>・現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る。</li> </ul>				
評価基準	授業態度：40% 提出物：40% 振り返り：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルプロジェクトII B・オリジナルプランニングA・オリジナルプランニングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藏下 華蓮 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ウェディングプロデュースについて	2年生後期に実施するウェディングプロデュースの概要を知る
2	役割の決定	役割の理解、アンケートを記入する
3	目標設定 当日までのスケジュール理解	ウェディングプロデュースにおける全体の目標を設定する 当日までの準備スケジュールを理解する
4	新郎新婦公募について①	新郎新婦の公募方法を考え実施する
5	新郎新婦公募について②	
6	新郎新婦公募について③	
7	予算使用について	全体予算とセクション予算、予算の使用方法について理解する
8	会場見学・会場研究	使用する会場の見学、導線や物品を確認する
9	各セクション制作①	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・BGM フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
10	各セクション制作②	
11	各セクション制作③	
12	各セクション制作④	
13	各セクション制作⑤	
14	各セクション制作⑥	
15	総まとめ	前期総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる。				
到達目標	学んだ知識をもとに実践力を身につける。 現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る。				
評価基準	授業態度：40% 提出物：40% 振り返り：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡA・オリジナルプランニングA・オリジナルプランニングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	各セッション制作①	招待状、席次表、席札作成・演出・進行表・BGM・フラワー 会場装飾・小物・ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等のコラーージュを作成する
2	新郎新婦様との打合せ①	衣装合わせ・各セッション制作①の提案、ヒアリングをする
3	各セッション制作②	招待状完成・席次表、席札作成・進行表作成・司会原稿作成 CD(映像)作成・ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を作成する
4	新郎新婦様との打合せ②	衣装合わせ・招待状お渡し・試食会日程決め・各セッション制作②のご提案をする
5	各セッション制作③	全体スケジュール作成・席次表、席札完成・司会原稿完成・CD(映像)完成 ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を完成させる
6	新郎新婦様との打合せ③	メイクリハーサル・料理、ウェディングケーキ、ゲスト人数確認・各セッション制作③の確認をする
7	各種リハーサル	紙上リハーサル・口上作成・各セッション動きを確認する 新郎新婦様との挙式、披露宴リハーサルのためのリハーサルを行う
8	新郎新婦様とのリハーサル・最終打合せ	メイクリハーサル・挙式、披露宴のリハーサル・最終打合せ・お預かり物等を確認する
9	各セッション制作④	席次表、席札人数分印刷・フラワー、会場装飾卓数分作成する 会場へ持込みするグッズを確認する
10	挙式・披露宴リハーサル	挙式・披露宴通しのリハーサルを行う
11	全体リハーサル①	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りまでのリハーサルを行う
12	全体リハーサル②	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
13	全体リハーサル③	お客様役の1年生を入れて受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
14	振り返り	本番を振り返って振り返りを記入する
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けIIA		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けIIA		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも (4) 仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版KW	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す。				
到達目標	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 花嫁着付け3級取得。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 花嫁着付け3級				
関連科目	花嫁着付けIA、花嫁着付けIB、花嫁着付けIIB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菅野 洋子	実務経験	○		
実務内容	フォトスタジオ着付け3年・成人式/卒業式着付け13年の実務経験に基づき着付けの知識のあるプランナーを育成する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	花嫁着付け内容説明	デモンストレーション・小物の説明・準備の仕方・補整作り
2	掛下の着せ方1	補整・長襦袢・小物の片づけ方、たたみ方
3	掛下の着せ方2	掛下の着せ方(符合合わせの決め方)
4	掛下の着せ方3	掛下の着せ方(裾の引き方)
5	掛下の着せ方4	掛下に文庫結び
6	掛下の着せ方5	掛下に文庫結び 仕上げまで
7	掛下の着せ方6	掛下に文庫結び 仕上げ
8	掛下の着せ方7	掛下に文庫結び 仕上げ
9	花嫁着付け3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	花嫁着付け3級検定	掛下に文庫結び(35分)
11	打掛の掛け方	お絡げ、襷取り、お掻取りの仕方 検定結果通知
12	紋服	紋服の着せ方、たたみ方
13	留袖の総仕上げ1	留袖・二重太鼓の総仕上げ
14	留袖の総仕上げ2	留袖・二重太鼓の総仕上げ
15	総合学習	留袖・二重太鼓の総仕上げ 婚礼着付けのまとめ 期末テスト

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅡB			
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅡB			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45	
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4) 仮ひも(1)・和装スリッパ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版KW		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す。				
到達目標	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 花嫁着付2級取得。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 花嫁着付2級				
関連科目	花嫁着付ⅠA、花嫁着付けⅠB、花嫁着付けⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	引き振袖の着せ方1	「引き振袖の説明」教材・小物の準備の仕方 引き振袖の着せ方
2	引き振袖の着せ方2	引き振袖に末広立矢結び(三重紐の使い方)
3	引き振袖の着せ方3	引き振袖に末広立矢結び(羽根の取り方)
4	引き振袖の着せ方4	引き振袖に末広立矢結び(亀甲の作り方)
5	引き振袖の着せ方5	引き振袖に末広立矢結び(形づけ・仕上げ)
6	引き振袖の着せ方6	引き振袖 仕上げ1
7	引き振袖の着せ方7	引き振袖 仕上げ2
8	花嫁着付2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
9	花嫁着付2級検定	花嫁引き振袖に末広立矢結び(35分)
10	大振袖の着せ方	大振袖～帯結び
11	女袴の着せ方 卒業制作について	女袴の着付け・立居振る舞い
12	着付け総復習1	総復習練習1
13	着付け総復習2	総復習練習2
14	着付け総復習3	総復習練習3
15	総合学習	総まとめを行う 期末テスト

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡA		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式(カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する。				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる。 応用を学び、技術の幅を広げることができる。				
評価基準	実技テスト：30% 筆記テスト：30% 授業態度：20% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	成田 有美	実務経験		○	
実務内容	日本ネイリスト協会本部認定講師、サロンワーク歴19年、ジェルメーカーエデュケーター、サロンワーク現役なので業界の現状を踏まえ検定だけでなく実務で使える技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	オリエンテーション/教材配布(名称及び説明) 【筆記】2級検定筆記対策 【実技】チップラップ、カラーリング
2	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【実技】2級検定対策 チップラップ～カラーリング 2級検定の後半試験内容を流れて学ぶ カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
3		【実技】2級検定対策 チップラップ～カラーリング 2級検定の後半試験内容を流れて学ぶ カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
4		【筆記】2級対策 【実技】チップラップ、カラーリング、ネイルアート
5		【筆記】2級対策 【実技】チップラップ、カラーリング、ネイルアート
6		【実技】2級検定対策(第二課題 タイムトライアル)
7		
8		テスト
9	テスト	【実技】2級検定の内容で実技テストを行う
10	ジェルネイル中級検定対策	中級検定説明 【筆記】中級検定筆記対策 【実技】中級検定説明 中級検定対策
11	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】ジェル検定中級対策 【実技】中級検定対策 カラーグラデーション(ジェルP88～91)
12		【筆記】ジェル検定中級対策 【実技】中級検定対策 カラーグラデーション(ジェルP88～91)
13		【筆記】ジェル検定中級対策 【実技】中級検定対策 フレンチ(ジェルP92～95)
14		【筆記】ジェル検定中級対策 【実技】中級検定対策 フレンチ(ジェルP92～95)
15		総合学習

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡB		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式(カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する。				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる。 応用を学び、技術の幅を広げることができる。				
評価基準	実技テスト：30% 筆記テスト：30% 授業態度：20% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルネイル中級検定対策	【実技】 ジェルクリアスカルプチュア (テクニカルシステム ジェル P62~66)
2	【実技】 中級内容	【実技】 ジェルクリアスカルプチュア (テクニカルシステム ジェル P62~66)
3	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第一または、第二通し)
4	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第二通し)
5	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第二通し)
6	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第二通し)
7	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル (第二通し)
8	テスト	【筆記】 2級検定の内容で筆記テストを行う 【実技】 2級検定の内容で実技テストを行う
9	テスト	【実技】 2級検定の内容で実技テストを行う
10	ブライダル&トレンドアート①	流行のトレンドアートについて学ぶ
11	ブライダル&トレンドアート②	
12	卒業制作	テーマに合わせた作品制作
13	卒業制作	
14	卒業制作	
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステA		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	クリエース化粧品(エステセット) ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで、将来お客様にエステへ通う事の意義や重要性を伝えられる知識を習得する。				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる。				
評価基準	筆記テスト：30% 実技テスト：30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原 令こ	実務経験		○	
実務内容	エステティックサロン勤務歴7年半の経験を基に、エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様へのエステに通う事の意義や重要性の伝え方を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステティックとは 使用方法と説明	オリエンテーション □ベッドメイク、スチームタオル作り □化粧品配布と取扱いについて □一連の流れについて
2	ボディ技術理論 生理解剖/エステティック種類	□ボディエステティックとは □トリートメントの目的を学ぶ □皮膚の構造を知る □エステサロンの種類について学ぶ □ボディカウンセリング
3	マッサージ① ホットタオル拭取り	マッサージ導入・デモ 下肢後面 軽擦法～強擦法・揉擦法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法
4	マッサージ② ホットタオル拭取り	
5	マッサージ③ ホットタオル拭取り	
6	実技テスト	ご案内～マッサージ～ホットタオル～仕上げ
7	アロマとは 精油の基礎知識を学ぶ	精油について 精油が心身に作用する経路を知る
8	アロマテラピーの利用法 小テスト	香りのイメージを学ぶ 精油の使用法、安全の為の注意
9	腰部マッサージ① (アロマトリートメント)	デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
10	腰部マッサージ② (アロマトリートメント)	復習
11	腰部マッサージ③ (アロマトリートメント)	復習
12	復習 通し練習①	腰部部 (アロマトリートメント)
13	復習 通し練習② 小テスト	腰部部 (アロマトリートメント)
14	筆記テスト	前期で学んだ範囲の筆記テストを作成し実施
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	クリエース化粧品(エステセット) ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステサロンへ通う事の意義や重要性を伝えられる知識を習得する。				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる。				
評価基準	筆記テスト：30% 実技テスト：30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション フェイシャル技術理論 皮膚学について	<input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> フェイシャルについて「トリートメントの目的」 ・皮膚の構造を学ぶ
2	フェイシャルケアの流れ ポイントクレンジング	フェイシャルセッティング ポイントメイククレンジング/手技練習について学ぶ
3	クレンジング～ コットン・スポンジ拭取り ホットタオルふき取り	クレンジング・拭き取り/手技について学ぶ ホットタオル拭取りのための準備や方法を学ぶ
4	クレンジングから復習	ホットタオル拭き取り実践
5	マッサージ～ふき取り～仕上げ①	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う①
6	マッサージ～ふき取り～仕上げ②	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う②
7	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ①	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ①
8	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ②	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ②
9	実技テスト	後期に学んだ範囲…フェイシャル
10	フェイシャルパック ディープクレンジング① ピーリング	<input type="checkbox"/> デモンストレーションより学び実践 ・手技 ・拭き取り
11	フェイシャルパック ディープクレンジング② ピーリング	<input type="checkbox"/> 前回の復習・実践 ・手技 ・拭き取り <input type="checkbox"/> 小テスト(フェイシャルパックのテスト)
12	フェイシャルカウンセリング①	<input type="checkbox"/> お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる <input type="checkbox"/> カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
13	フェイシャルカウンセリング②	<input type="checkbox"/> お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる <input type="checkbox"/> カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
14	筆記テスト	筆記テスト…後期で学んだ範囲
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコンスキル		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコンスキル		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word&Excel 2019		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成などパソコンの技能を習得する。				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができる。				
評価基準	テスト：60% 課題提出：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	蔵下 華蓮	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標について PC基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OCの使用方法、リテラシーについての理解
2	Word入門①	Wordの基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法について
4	Word入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動について
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体についてについて
6	Word応用①	表の作成・編集について
7	Word応用②	表の作成・編集について練習
8	文書作成①	表入りビジネス文書作成練習
9	文書作成②	入力・表入りビジネス文書作成テスト
10	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について
11	Excel応用①	オートSUM、関数、四則演算について
12	Excel応用②	グラフの作成、グラフの設定変更について
13	Excel応用③	データ入力、関数、グラフ、テスト
14	前期まとめ	振り返り(学科、タイピング、Word、Excel)
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスメール		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスメール		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	ビジネスを強かにバックアップする“メール・テクニック” 改訂新版ビジネスメールの書き方・送り方		出版社	株式会社あさ出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界で必要な基本的なビジネスメールの送り方を学ぶ。				
到達目標	社会人として必要とされるビジネスメールマナーを学びスムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。				
評価基準	テスト：60% 課題提出：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ビジネスメール実務検定試験3級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・メール基本設定	ビジネスメールを学ぶ意義・メールアドレスの登録、設定について
2	ビジネスメール導入	メールの機能を学ぶ、ビジネスメール基本の構成について
3	ビジネスメール実践①	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
4	ビジネスメール実践②	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
5	ビジネスメール作成応用①	例題に基づきビジネスメールを作成、送信
6	ビジネスメール作成応用②	例題に基づきビジネスメールを作成、送信
7	ビジネスメール作成応用③	例題に基づきビジネスメールを作成、送信
8	ビジネスメール作成①	オリジナルビジネスメール作成、送信
9	ビジネスメール作成②	オリジナルビジネスメール作成、送信
10	メールトラブル	ビジネスメールトラブルの解決法について
11	ビジネスメール作成③	指定のメールを作成、送信
12	ビジネスメール作成④	指定のメールを作成、送信
13	ビジネスメール応用	ビジネスメール実務検定の内容、効率的なメール作成のテクニックについて
14	まとめ	ビジネスメール確認テスト
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅢ		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン・ドライヤー		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身につけた基礎技術を活かし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける。				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる。				
評価基準	実技テスト：30% 作品採点：30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	浦部 マキ	実務経験		○	
実務内容	美容師として10年間アシスタント業務、スタイリスト業務を経験。ヘアメイク事務所に5年間所属し、メディア関係やブライダルなどヘアメイク業務を経験し、現在はフリーランスのヘアメイクとして、ブライダルや式典などのヘアメイクを行っている。様々な経験を活かし現場目線での授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ウェディングヘアについて学ぶ	『ウェディングヘア』について学ぶ 流行のヘアスタイルを学ぶ
2	和装スタイル 振袖①	和装スタイルについて学ぶ (面ループ) ウィッグ
3	和装スタイル 振袖②	
4	和装スタイル 振袖③ 小テスト	
5	洋装スタイル 白ドレス①	洋装スタイル(白ドレス)を学ぶ (ハーフアップ) ウィッグ
6	洋装スタイル 白ドレス②	
7	洋装スタイル 白ドレス③ 小テスト	
8	洋装スタイル カラードレス①	洋装スタイル(カラードレス)を学ぶ (サイドダウン) ウィッグ
9	洋装スタイル カラードレス②	
10	洋装スタイル カラードレス③ 小テスト	
11	和装スタイル 留袖・訪問着①	留袖・訪問着スタイルを学び実践する (シニヨン) ウィッグ
12	和装スタイル 留袖・訪問着②	
13	和装スタイル 留袖・訪問着③ 小テスト・プロー理論	和装スタイル小テスト・プロー理論
14	プロー実践	プロー実践
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅣ		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身につけた基礎技術を活かし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける。				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる。				
評価基準	実技テスト：30% 作品採点：30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング	教員紹介、後期の流れ、後期のゴール、授業のルール、成績について カウンセリングについて学ぶ
2	新日本髪について①	ブライダルヘアアレンジのⅢの復習を取り入れ『和装ウエディングヘア』について学ぶ
3	新日本髪について②	日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ □顔型をカバーするコツを学ぶ □前髪ありとなしでの見え方を学ぶ
4	新日本髪について③	□ヘアアクセの種類と見え方を学ぶ □同じ髪型に対してヘアアクセの位置やモノにより見え方を学ぶ □同じ髪型で前髪ありとなしの違いを学ぶ
5	新日本髪について④ 小テスト	
6	フリースタイル①	流行のヘアアレンジ・トレンドを学ぶ
7	フリースタイル②	
8	チェンジスタイル①	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
9	チェンジスタイル②	
10	チェンジスタイル③ 小テスト	
11	チェンジスタイル④	
12	チェンジスタイル⑤ 小テスト	
13	作品制作①	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作
14	作品制作② 作品採点	2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、自由にヘアアレンジを制作する
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク&フォトA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク&フォトA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 電子版BRIDAL		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身につける。				
到達目標	ブライダルメイクアップ検定取得。 フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる。				
評価基準	作品制作：30% 実技テスト：30% 小テスト（課題提出含む）：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が掃除回数数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ブライダルメイクアップ検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	後藤 導絵	実務経験		○	
実務内容	フォトスタジオに2年間勤務後、結婚式場にてヘアメイク、アテンドを専門に勤務。その後フリーランスとしてブライダル、広告撮影、MV撮影などを手掛ける。上記の経験からヘアメイクの実技に活かす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダル検定対策	□ブライダル検定までのスケジュール確認(復習) □テーマ：ラグジュアリー イメージを理解する
2	ブライダル検定対策	□テーマ：クラシカル イメージを理解する
3	検定対策①	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン&プレゼン練習～ □デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について □8パターンを行う □時間内に仕上げる
4	検定対策②	
5	検定対策③	
6	検定対策④	
7	検定対策⑤	
8	検定対策⑥	
9	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	ヘア&メイク通しで仕上げる メイク可愛いor綺麗 ヘアアップスタイル □ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる □タイムワークを意識
10	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	□手順、流れを意識し理解できている
11	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	似合わせヘア&メイク 目元ニュアンス ソフトベールトーン、暖色系可愛いor綺麗 ニュートラルな無彩色 □ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる
12	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	□タイムワークを意識 □手順、流れを意識し理解できている
13	撮影・実技テスト (一人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
14	撮影・実技テスト (二人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク&フォトB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク&フォトB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式、電子版BRIDAL		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身につける。				
到達目標	フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる。				
評価基準	作品制作：30% 実技テスト：30% 小テスト（課題提出含む）：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が掃除回数数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング術を学ぶ	後期の授業内容説明 カウンセリングの必要性を説明、流れ、内容、話術を説明、カウンセリングシートの記入の仕方を学ぶ
2	カウンセリング術を学ぶ	カウンセリングレクチャー後、ヘアでロールプレイング
3	コントゥアリングメイク	コントゥアリングメイクについて説明 コントゥアリングメイクの実践
4	ドレスに合わせたイメージ撮影準備	カラードレスで考える モデルの雰囲気やドレスの形、色に合わせたヘアメイクの提案を学ぶ
5	ブライダルシーンに合わせた撮影準備	チャペルや、バンケット、その他撮影アングルなどを考えてトータルバランスが良くなるように撮影を考える
6	ブライダルシーンに合わせた撮影 (実技テスト)	ブライダルシーンも踏まえた作品として撮影する
7	卒業制作について 卒業制作準備①	卒業制作に向けて準備を行う  ※撮影スケジュールを確認 ※小物アイテム作成、ポージング、撮影アングル等イメージを細かく考える ※撮影に向けてヘアメイク練習、モデルのポージング確認、ヘアメイクの写り具合など実際撮影し練習する
8	卒業制作準備②	
9	卒業制作準備③	
10	卒業制作撮影①	
11	卒業制作撮影②	
12	作品選び・振り返り	卒業制作の作品選び・振り返りを行う
13	卒業式ヘアメイク①	卒業式ヘアメイクについて説明・和装メイクの説明 卒業式ヘアメイクの実践
14	卒業式ヘアメイク②	卒業式ヘアメイクの実践
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクA			
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクA			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30	
使用教材	メイク道具一式、ヘア道具一式(後期) ボディージュエリー道具、和装カツラ(学校準備)		出版社	株式会社ユアサポート		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける。				
到達目標	洋装和装メイクのレパトリーを増やし、提案力を高め、結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる。				
評価基準	実技テスト：40% 小テスト(実技筆記・課題提出含む)：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	洋装・和装メイクB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	浦部 マキ	実務経験		○	
実務内容	美容室に勤務後ヘアメイク事務所に5年勤務。成人式、ブライダルの前振り等の業務を経験。また撮影などのヘアメイクを経験。以上の経験を基にブライダルメイクや撮影のメイク知識を教授し、実技に活かす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認	オリエンテーション 洋装メイク・和装メイクについて説明 水化粧導入
2	和装花嫁のメイクのテクニック①	かつらの扱い方や付け方を学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
3	和装花嫁のメイクのテクニック②	かつらの扱い方や付け方を学ぶ 水化粧のやり方を学ぶ
4	和装花嫁のメイクのテクニック③	かつらの下地のやり方や 水化粧のやり方を学ぶ
5	和装花嫁のメイクのテクニック④	洋装ファンデーションでの和装メイク
6	和装花嫁のヘアのテクニック	和装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
7	洋装花嫁のヘアのテクニック	洋装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
8	シーンに合わせた洋装メイク①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
9	シーンに合わせた洋装メイク②	洋装メイクを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
10	シーンに合わせた和装メイクから 洋装メイクへチェンジ①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
11	シーンに合わせた洋装メイクから 和装メイクへチェンジ②	和装メイクから洋装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
12	実技テスト(1人目) 筆記テスト	課題：提示したウェディングシーンにあったメイク テーマに合わせてメイクチェンジ
13	実技テスト(2人目)	
14	ブライダル対象別マルチメイク	性別や、年齢別のヘアメイクテクニックを学ぶ ボディートラブルの隠し方、列席者メイク等
15	総合学習	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクB			
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクB			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30	
使用教材	メイク道具一式、ヘアー道具一式(後期) ボディジュエリー道具、和装カツラ(学校準備)		出版社	株式会社ユアサポート		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける。				
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める。 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる。				
評価基準	卒業制作：30% 実技テスト：30% 小テスト(実技筆記・課題提出含む)：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	洋装・和装メイクA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認 ボディジュエリー①	オリエンテーション ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践・新婦のボディジュエリーを学ぶ
2	ボディジュエリー②	ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践 新婦のボディジュエリーを学ぶ
3	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック①	色打掛に合わせたヘアメイクテクニックを学ぶ
4	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック②	相モデルで実践・着物を指定した上でヘアメイクを行う カウンセリングシート作成・挙式、お色直し、披露宴までの流れに合わせたテクニックを学び実践
5	カウンセリング 白無垢のヘアメイクテクニック③	カウンセリングシートを作成し、希望をもとにヘアメイクを行う
6	カウンセリング 白無垢のヘアメイクテクニック④	
7	小テスト	これまで学んだカウンセリングについて
8	実技テスト	これまで学んだ白無垢のヘアメイクテクニックのテスト
9	新郎ヘアメイク	新郎のヘアセットについていくつかパターンを学び実践する
10	卒業制作準備	シーンを決めこれまで学んだヘアメイクテクニックを活かした卒業制作を考える
11	卒業制作撮影①	シーンを決め、そのイメージにあったヘアメイクを実践・撮影 メイクチェンジを行い撮影
12	卒業制作撮影②	
13	卒業式の袴に合わせたヘアメイク①	カウンセリングを行いデザイン画を描く ヘアメイクの提案をし、相モデルで行う
14	卒業式の袴に合わせたヘアメイク②	
15	総合学習	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレススタイリングA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレススタイリングA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する。				
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となれるよう、ドレスデザインA・Bで身につけた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートスキルを身につける。				
評価基準	テスト：50% 実技（ロールプレイング）：30% 授業態度（提出物含む）：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレススタイリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佃 光恵	実務経験		○	
実務内容	ベルヴィ武蔵野衣装部にて6年間勤務した実務経験を活かし、衣装に関連する知識を深める授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る、伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性・納品・請求書明細・受領書・会計請求書・領収書
2	採寸	採寸方法を学びブライダリンナーについて知る
3	補正技術①	補正技術の基礎を学ぶ 新婦の洋装(ドレス)補正技術
4	補正技術②	タキシード採寸、裾上げ
5	衣装知識①	好きなブランド・ショップの理解を深めプレゼン・コラージュする
6	衣装知識②	好きなブランド・ショップの理解を深めプレゼン・コラージュする
7	プレゼンテーション	2～3週目で調べたドレスショップをコラージュを用いてプレゼンテーション
8	ディスプレイ技術①	ディスプレイのデザイン・グループワーク 検討
9	ディスプレイ技術②	ディスプレイのデザイン・グループワーク 実践
10	ディスプレイ技術③	ディスプレイのデザイン・グループワーク プレゼン
11	接客技術①	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
12	接客技術②	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
13	接客技術③	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
14	前期試験	筆記試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレススタイリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレススタイリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する。				
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となるよう、ドレスデザインA・Bで身につけた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身につける。				
評価基準	テスト：50% 実技（ロールプレイング）：30% 授業態度（提出物含む）：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	ドレススタイリングA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	業務知識	メンテナンスの流れについて
2	衣装選択①	妊婦の花嫁の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
3	衣装選択②	テーマに沿った衣装を提案しフィッティングの実践を行う
4	衣装選択③	テーマに沿った衣装を提案しフィッティングの実践を行う
5	実技試験①	3～4週目の内容のプレゼンテーション（1人3分程度、人数によって調整）
6	新郎衣装・列席者衣装	新郎衣装案内・列席者衣装案内
7	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート（ヘアアレンジ含む）
8	新婦の洋装フィッティング②	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート（ヘアアレンジ含む）
9	トータルコーディネート①	テーマに対するスタイリングを実践する
10	トータルコーディネート②	テーマに対するスタイリングを実践する
11	トータルコーディネート③	テーマに対するスタイリングを実践する
12	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング	授業で学んだ内容をもとに受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング（動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う）
13	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング	授業で学んだ内容をもとに受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング（動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う）
14	後期試験	筆記試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリング A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリング A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身につける。				
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身につける。 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る。				
評価基準	テスト：60% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスカウンセリングB、ドレスコーディネイトA・B				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 実季	実務経験		○	
実務内容	都内ドレスショップにて勤務（9年）の実務経験に基づき、ドレスの取り扱いやカウンセリングのスキルを身につける授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	接客業において必要な事を知る カウンセリングとはなにか、カウンセリングの意味を知る 身だしなみについて
2	表情練習①	笑顔を中心に接客における表情練習を行う
3	表情練習②	撮影した動画を見て客観的に自分の表情を分析する
4	話し方・発声練習	お客様に好感を持っていただく為の話し方・発声方法を知る
5	お客様心理を学ぶ①	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
6	お客様心理を学ぶ②	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
7	敬語での会話練習①	敬語のみでお題に対してスピーチを行う
8	敬語での会話練習②	敬語のみでお題に対して会話を行う練習を行う
9	お客様心理を学ぶ③	好感度を上げる接客方法 接客を好きになる
10	花嫁クラス別対応方法①	花嫁クラス6種類について学ぶ
11	花嫁クラス別対応方法②	花嫁クラス別対応方法を考える
12	花嫁クラス別対応方法③	花嫁クラス別対応方法を考える
13	前期試験	筆記試験
14	前期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングB		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	なし			出版社	なし

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身につける。				
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身につける。 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る。				
評価基準	ペーパーテスト：40% 実技試験：40% 授業態度（提出物含む）：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスカウンセリングA、ドレスコーディネーターA・ドレスコーディネーターB				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	導入① 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくり
2	導入② 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくり
3	カウンセリング応用①	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
4	カウンセリング応用②	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
5	カウンセリング応用③	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
6	カウンセリング実践①	3~5週で学んだ事を実践しながら行う
7	カウンセリング実践②	3~5週で学んだ事を実践しながら行う
8	カウンセリング実践③	3~5週で学んだ事を実践しながら行う
9	カウンセリング実践④	実際にペアを組みカウンセリング〜クローゼットまでの接客の実践を行う
10	カウンセリング実践⑤	実際にペアを組みカウンセリング〜クローゼットまでの接客の実践を行う
11	カウンセリング実践⑥	実際にペアを組みカウンセリング〜クローゼットまでの接客の実践を行う
12	カウンセリング実践⑦	実際にペアを組みカウンセリング〜クローゼットまでの接客の実践を行う
13	後期試験	筆記試験
14	後期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネート A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネート A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身につける。				
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦の小物を含めた洋装～和装のトータルコーディネートができる。 また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事が出来る。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける。				
評価基準	テスト：50% 実技（ロールプレイング）：30% 授業態度（提出物含む）：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスコーディネートB、ドレスカウンセリングA、ドレスカウンセリングB、ドレスソーイング&メンテナンスII、ドレスソーイング&メンテナンスIII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 実季	実務経験		○	
実務内容	都内ドレスショップにて勤務（9年）の実務経験に基づき、ドレスの取り扱いや、コーディネートのスキルを身につける授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る、伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性・納品・請求書明細・受領書・合計請求書
2	衣装知識	自分の就職希望先、または1番好きなドレスショップやブランドを調べコラーージュする
3	衣装知識	違いを把握するため自分の就職希望先の競合するショップやブランド、または2番目に好きなショップやブランドを調べコラーージュする
4	プレゼンテーション	2～3週目で調べたドレスショップ・ブランドをコラーージュを用いてプレゼンテーション
5	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 検討
6	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 実践
7	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク プレゼンテーション
8	受付対応	電話受付・来店受付対応方法
9	衣装選択	妊婦の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
10	衣装選択	アドバイス方法をもとにお題を出したものに対しドレスを選び プレゼン発表用に内容をまとめる
11	実技試験①	9～10週目の内容のプレゼンテーション（1人3分程度、人数によって調整）
12	フィッティング ロールプレイング	新郎衣装案内・列席衣装案内
13	実技試験②	受付対応のロールプレイングテスト
14	前期試験	筆記試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身につける。				
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦の小物を含めた洋装(和装)のトータルコーディネートができる。ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事ができる。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける。				
評価基準	テスト：50% 実技(ロールプレイング)：30% 授業態度(提出物含む)：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスコーディネートA、ドレスカウンセリングA、ドレスカウンセリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期に行った内容の復習を行う
2	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート(ヘアアレンジ込)
3	新婦の洋装フィッティング②	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート(ヘアアレンジ込)
4	トータルコーディネート①	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
5	トータルコーディネート②	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
6	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート①	ブライダルプロジェクトと連動
7	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート②	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート③	ブライダルプロジェクトと連動
9	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート④	ブライダルプロジェクトと連動
10	ドレスコーディネート接客ロールプレイング①	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
11	ドレスコーディネート接客ロールプレイング②	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
12	和装コーディネート接客ロールプレイング③	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ベアを変更する
13	和装コーディネート接客ロールプレイング④	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ベアを変更する
14	後期試験	筆記試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、実際に作品作りを行う。				
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し、ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレス制作において、自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を創る事が出来る。				
評価基準	制作物：50% テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスコーディネートA、ドレスコーディネートB、ブライダルプロジェクトⅡA、ブライダルプロジェクトⅡB、ドレスソーイング&メンテナンスⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 実季	実務経験		○	
実務内容	都内ドレスショップにて勤務(9年)の実務経験に基づき、ドレスの取り扱いやメンテナンスのスキルを身につける授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	衣装点検	学校の衣装を点検する/洗濯表示について
2	メンテナンス業務①	1着の衣装をメンテナンス
3	メンテナンス業務②	1着の衣装をメンテナンス
4	メンテナンス業務③	1着の衣装をメンテナンス
5	メンテナンス業務④	1着の衣装をメンテナンス
6	メンテナンス業務⑤	衣装・小物のメンテナンス
7	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作①	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
8	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作②	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
9	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作③	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
10	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作④	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
11	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑤	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
12	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑥	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
13	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑦	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
14	前期試験	筆記試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ、Ⅱで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、実際に作品作りを行う。				
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し、リメイクドレス作成など卒業制作においては自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足いく作品を完成する事が出来る。				
評価基準	制作物：50% テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ、ドレスコーディネートA、ドレスコーディネートB、ブライダルプロジェクトⅡA、ブライダルプロジェクトⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期に行った内容の復習を行う
2	ブライダルコレクション準備①	ブライダルプロジェクトと連動
3	ブライダルコレクション準備②	ブライダルプロジェクトと連動
4	ブライダルコレクション準備③	ブライダルプロジェクトと連動
5	ブライダルコレクション準備④	ブライダルプロジェクトと連動
6	ブライダルコレクション準備⑤	ブライダルプロジェクトと連動
7	ブライダルコレクション準備⑥	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクション準備⑦	ブライダルプロジェクトと連動
9	卒業制作①	卒業制作としてリメイクドレスや作品作りを行う
10	卒業制作②	卒業制作としてリメイクドレスや作品作りを行う
11	卒業制作③	卒業制作としてリメイクドレスや作品作りを行う
12	卒業制作④	卒業制作としてリメイクドレスや作品作りを行う
13	卒業制作⑤	卒業制作としてリメイクドレスや作品作りを行う
14	後期試験	筆記試験
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	ヘアアレンジテキスト、電子版BRIDAL、メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身につけた基礎技術をいかし、更にアレンジを強化しレパートリーを習得する。				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる。				
評価基準	実技テスト：30% 作品採点：30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	後藤 導絵	実務経験	○		
実務内容	フォトスタジオに2年間勤務後、結婚式場にてヘアメイク、アテンドを専門に勤務。その後フリーランスとしてブライダル、広告撮影、MV撮影などを手掛ける。上記の経験からヘアメイクの実技に活かす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヘアアイロンスタイル①	オリエンテーション ヘアスタイルとして巻きの構成とスタイリングを考え実践する
2	ヘアアイロンスタイル②	ヘアアイロンを使い、スタイリングを行う
3	ハーフアップ①	スタイルの構成を理解し作品作りに繋げる
4	ハーフアップ②(人頭)	
5	ハーフアップ 小テスト	ヘアアイロンからヘアセットまでの時間を計る
6	面出しシニヨン①	面を綺麗に出すシニヨンの作り方
7	面出しシニヨン②	
8	シニヨンアレンジ①	シニヨンをベースにアレンジする
9	シニヨンアレンジ②	
10	シニヨン 実技テスト	ホットカーラーからヘアセットを時間を計る
11	洋装スタイル①	小テスト(作品採点)有
12	洋装スタイル②	
13	和装スタイル①	小テスト(作品採点)有
14	和装スタイル②	
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	ヘアアレンジテキスト、電子版BRIDAL、メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身につけた基礎技術をいかし、更にアレンジを強化し多くのレパートリーを習得する。				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる。				
評価基準	実技テスト：30% 作品採点：30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）：20% 授業計画：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヘアアレンジカウンセリング①	オリエンテーション 相モデルでカウンセリング～ヘアアレンジまで行う
2	ヘアアレンジカウンセリング②	相モデルでカウンセリング～ヘアアレンジまで行う
3	七五三のヘアアレンジ	オリエンテーション 子供用の日本髪「桃割れ」を作る
4	新日本髪①	新日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ
5	新日本髪②	
6	新日本髪③ 実技テスト	新日本髪（ウィッグ）
7	洋装スタイル①	相モデルで行う ※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身につけたテクニックを提供できる様、しっかりとカウンセリングを行って、施術をする
8	洋装スタイル②	
9	和装スタイル①	
10	和装スタイル②	
11	フリースタイル①	和装スタイル小テスト(採点あり) 基本テクニックを駆使し和装用ヘアスタイルを作り上げる～カウンセリングから提案までを含む～
12	フリースタイル②	
13	作品制作①	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、自由にヘアアレンジを制作する
14	作品制作② 作品採点	
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身につける。				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身についている。 相手の立場に立った物の考え方ができる。 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	企業側評価：75点（評価表にて採点） 学校評価：25点（レポート）				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2位上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	インターンシップ対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身につける。				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身についている。 相手の立場に立った物の考え方ができる。 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	企業側評価：75点（評価表にて採点） 学校評価：25点（レポート）				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2位上ある者 ・成績評価が2位上の者				
関連資格	なし				
関連科目	インターンシップ対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					